

熊野森・里山通信

目次

- 1 やって来た！毎木調査
- 2 植物観察会 報告
- 2 チャレボラがやってきた
- 3 野菜作り体験学習
- 4 第14回総会報告

この十年で
熊野森緑地は見事に
明るい雑木林に再生

里山からのメッセージ



川崎・多摩丘陵の里山を守る会

問合せ・連絡先

Webサイトのアドレス:

<http://satoyamanokai.org/>

やって来た！^{まいぼく} 毎木調査

15年前、熊野森（久本山）はマンション建設のため、2.7 畝の広大な面積の竹、アズマネザサ、大木が伐られ、山肌が露出しました。その一部が川崎市に提供され未長熊野森緑地となってから、10年を過ぎ、萌芽更新したコナラやエゴノキなどが成長し、雑木林らしくなってきました。

地肌が見えていた緑地は、まず『クズ』で覆われ、『アズマネザサ』が茂り、やがて大木の根本から萌芽更新。枝の手入れをしたり根が残っていた木の新芽がでてきたり、野鳥が運んで来た種が発芽しました。私たちは、緑地の植栽はせずに、人々の生活を支えて自然に生えた木を育てることにしています。

木が密集し伐採せざるを得ない状況になると、どの木を伐るのか迷います。熊野森には何種類の木が存在するか？分布の仕方は？と疑問を解決して、緑地の手入れをする共通の認識を持ち、伐採をすることが必要になりました。

地域の人々が愛する熊野森緑地となるように、この緑地にある木の種類、木の大きさ（高さや周囲の長さ）、分布を調べる＝毎木調査を開始しました。

どこにでも見られる「イヌシデ」であっても、発芽した木を伐採するのは心苦しいですが、すてきな木の匂いのプレゼントをもらいそれまで私達に与えてくれた恵みを感謝しながら作業をします。

毎木調査結果を参考に、魅力的な雑木林にする計画がたてられ、熊野森緑地が誇れる雑木林になることを楽しみにしています。

（やよい もも）

思い起こせば一年前、熊野森緑地のどこにどんな木があるのかという調査＝毎木調査の講習を受け、この調査を2012年10月12日南斜面からスタートしました。

階段の右を上から10mずつ区切って、木の位置、名前、樹高、幹周りを計ります。それぞれ用紙えんぴつ、メジャー、下草刈のハサミを手に。南斜面が終わったのは2月末日でした。

北斜面は一層大変な調査となりました。不定形の土地の中にランダムに生えてる木をA4の紙のマスキに記していく。蚊との戦い、これでいいのかしらと不安との戦いでもありました。終わって見ると、いろいろ判明したこともありました。

南斜面 14種類、約100本。北斜面 38種類、約190本。北斜面にたくさんあるイヌシデ、ツバキは南斜面には一本もない。多かった木上位7種の中で、北と南で共通したのはコナラとヒサカキだけです。南斜面と北斜面は雰囲気も違いますが、木の植生もかなり違います。この違いを大切に美しい雑木林を育てていきたいものです。こうして2013年9月24日には一応形になる調査ができました。（くす かおる）

植物観察会 報告

地域の交流を大切に

植物観察会



9月29日高橋英先生を招いて植物観察会が開催されました。末長熊野森緑地に集まった20名程がまわりを囲み、普段「雑草」と一括りに呼んでいる草についての、先生の話にあらためて「ふーんそうなんだ」と感心。

3ミリにも満たない小さな花のおしべめしべの造りに受粉の仕組みが組み込まれている。虫を招くくふうがある。あらためて聞いてなにげない草に惚れ直しました。

先生がこれは食べられますよと言った葉っぱを、即口に入れて噛んだのは私だけ。少し苦味と香りを感じました。

熊野森を進んで先生の解説は途切れることなく、ここの植物の由来から現在の状況まで話を色々とお聞きしました。

緑地の保存では、外国はもちろん国内でも出来るだけ他の地域の草花を避けて、ここに従来からある種類の草木を育てるように心がけが必要とのこと。

緑地中央の「榎」の赤黒い7ミリ位の実を取って食べると、これは他の皆なも一緒に食べてくれました。

仲間だ！！

(喜多)

チャレボラ中学生が来た

朝から汗ばむ7月28日(日)、末長熊野森緑地で、川崎市公園緑地協会主催のチャレンジ・ボランティアが行われ、里山を守る会から3名がお手伝いをしました。

受講生としてやって来たのは、可愛い中学生男女7名。作業内容は熊野森緑地だから出来る森の手入れとして大切な、木や竹の間伐でした。ノコギリを使ってその上大きな木や竹の伐採作業は、中学生達に中々出来る体験ではありません。皆、最初は覚束無い手で恐る恐るノコギリを引くので、頑張っている割には切り進めず、四苦八苦していましたが、指導を受けてノコギリも少しずつ大きく引ける様になって、交代しながら賑やかに頑張ってくれました。伐り倒した木を短く切り、枝を払って斜面の脇に運ぶ片付けまでやってもらって1時間程の作業を終えました。

終了後の彼らの感想は、「疲れたあ、でもやれて良かった」、「近くに住んでいるのに、ここを知らなかった。帰ったら親に今日の話をしたい」でした。私達からも、「数あるボランティアの中から、里山ボランティアを選んでくれてありがとう」、「お陰で森が明るくなった」、「今日の体験が緑地保全活動の大切さを考えるきっかけになれば嬉しい」と話しました。(のの すみれ)



第8回久保台公園まつり
2014年の春！！
4月13日(日)
10:00~14:00
お楽しみに

末長久保台公園は久本山(熊野森)の一角にあり、久本2丁目と末長1丁目と末長2丁目の境界に位置し、町会を超えて、付近の人たちの交流の場所として親しまれています。

そんな小さな公園で開催する『久保台公園まつり』ですが、みんなの多くの出会いがある、大きな夢一杯の『おまつり』になると嬉しいです。

只今、『おまつり』に欠かせない美味しい食べ物を検討中です。これだ！というアイデアがありましたら、奮ってご応募ください。

野菜作り体験学習、3年間の振り返り

里山を守る会の活動メニューとして2010年11月から開始した「野菜作り体験学習」は、気がつけば3年を経過しようとしています。

久本山の生産緑地の一角をお借りして緑地オーナーのご指導のもと、土作り、品種の選定から種・苗の購入、植付け、草刈り、水やり、収穫、そして食するまでの一通りの工程を、素人ながら会員の皆さまと楽しくおこなってまいりました。この3年間の体験学習を通じてたくさんのことを学びました。

- ・ ひと月に2度程度のお手入れでは野菜の成長は期待できないことを体感しました。やはり、野菜に注ぐ愛情の量が多いほど立派に育つのですね。
- ・ 土の中にたく元気なミミズを見るようになったのは土が良い状態だということを知りました。
- ・ お店で見る野菜ほど美しくはないものの、自分たちで作った野菜は格別の美味さがありました。
- ・ 野菜作りを本業としている農家の方々に、つくづく感心と感謝の意を感じました。
- ・ 会員の仲間で汗をかきながら、楽しく笑いながらの作業でしたので、より一層、絆が深まりました。

3年間の体験学習期間は、中学校や高等学校で学ぶ期間と同じです。そういう意味でこの体験学習は、自分たちの野菜を育てて食するという当初の目的も達成できましたので、ひとつの節目として、今後の学習方針の検討をおこなう予定です。（楓まあさ）



A. 土作り



B. いも植付け



C. 大根の種まき



D. 葱とインゲン



E. トマト



F. 里芋



G. 小松菜などなど



H. 収穫の一例です

参加お誘い！

公園を一緒にきれいにしませんか

里山を守る会は、市から**地元管理**を委託され、公園管理運営協議会として末長久保台公園や末長熊野森緑地で、月一回木々の剪定や下草刈り、清掃などの作業を行っています。

この活動は、いつでも気持ちよく子供達が遊んだり、大人の方々がのんびり憩える公園にするための地域貢献ボランティアです。秋から冬の落ち葉集めを幼稚園バス送迎のお母さま方と一緒にやっています。

楽しい仲間と、緑に親しみ四季の変化を肌で感じながら、一時気持ちの良い汗を流しませんか。もちろん、お子様も一緒にどうぞ！ 大歓迎です。ご参加お待ちしております。

これからの作業日程(いずれも日曜日)

2014年 1月19日、2月16日、3月16日

4月20日、5月18日、6月15日

集合場所：末長久保台公園・午前10時～10時半

末長熊野森緑地・午前10時半～11時半

公園の清掃ボランティア活動



末長久保台公園にて清掃、草刈などをして、久本山ターザンの木緑地へ移動、末長熊野森緑地までが活動範囲です。

川崎・多摩丘陵の里山を守る会第14回総会：活動の継続を決定

溝の口駅南側から見える小高い緑地を中心、保全活動を続けてきたこの会も、毎年地道な活動報告を会員の皆様にお伝えしてまいりました。いよいよ14年目に入ります。新しい参加者も久保台公園まつりなどのイベントを通じて増えてきています。けれども、地元の皆様のこの地域への愛着がやはり緑地ボランティアには必要です。そのため、**末長熊野森緑地に活動掲示板を設置することを決定し、2014年3月までには完成します。**

2013年5月19日、第14回総会を開催し、2012年度活動報告、決算報告、ならびに2013年度の活動計画、予算案を決定し、これからの活動に弾みを持たせようと確認しました。

活動方針・川崎市高津区内、多摩丘陵の緑地保全のための活動を継続します。・花と緑のまちづくりのために緑を育て、木や花を植える。・末長久保台公園にも樹木の名称板を付け、ほかの古くなったものは付け替える。・近くの畑を借りて体験農業を継続し、毎月農作業する。・「野鳥、草花観察会」などを企画し、参加者と里山保全の意義を共有する。・毎月第3日曜日の定例作業と定例外に月1回程度草刈と定植、清掃作業などの活動をする。・末長熊野森緑地、末長久保台公園とも公園管理運営協議会の活動を継続する。・ターザンの木の保全のため「久本山ターザンの木緑地愛護会」として活動し、久本薬医門公園などの地域の文化遺産を守る活動を続ける。・雑木林の再生のために落ち葉の堆肥マスの活用をすすめる。・行政との協働、他の緑の活動団体、地域の人々との交流をはかる。・「末長久保台公園まつり」を開催し、近隣との交流をはかる。・「川崎・多摩丘陵の里山を守る会」会費は昨年に続き1000円、会員加入をすすめる。(けやき)

●平成24年度会費の納入をお願いいたします。

ゆうちょ銀行での振込の場合は

記号 10260

番号 63488511

名前 カワサキ タマキュウリョウノサトヤマヲママルカイ

会費の納入について

(ゆうちょ銀行の口座から、キャッシュコーナー利用での振込だと手数料が無料です。)

また、銀行など他の金融機関からの振込の場合の受取口座は、

店名 〇二八(読み ゼロニハチ)

店番 028

預金種目 普通預金

口座番号 6348851